

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月10日

計画の名称	人が主役のまちづくりと良好な城下町空間の創出（犬山城下町地区）（第二期）													
計画の期間	平成27年度～平成30年度（4年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	犬山市													
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のゆとりと潤いのある住環境の形成を図り、地域住民や来訪者に対して、国宝犬山城と城下町の趣の感じられる街なみ景観を形成していくまちづくりを目指す。 ・都市施設の改修による住環境の向上を図り、歩行者が楽しく安全で安心して歩くことが出き、回遊性の高い歩行者優先のまちづくりを目指す。 													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		440	A	440	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H28末	H30末
1	・歩行者優先の快適なまち、多くの観光客が訪れ賑わいのあるまちを形成するため、城下町内の観光案内所の来場者数の増加を図る。 城下町観光案内所の来場者数 月平均来場者数	3600人	4420人	5240人
2	・安心安全に生活できる良好な住環境を形成するため、浸水時の通行不能箇所を解消を図る。 浸水時の通行不能箇所 箇所数	3箇所	3箇所	0箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	犬山市	直接	犬山市	-	-	犬山城南町地区街なみ環境整備事業	街なみ環境整備事業(面積:183.2ha):協議会活動助成、排水路整備、都市景観形成助成、歴史的風致形成	犬山市						440		-	
												小計						440		
											合計						440			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業関係各課による検証会議を開催し、事業効果の発現状況及び目標値の達成状況を検証し、今後の方針等について検討する。	令和2年3月
	公表の方法 市ホームページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・街なみ環境整備事業により住民協働まちづくり活動推進、排水路整備、景観形成助成、国登録文化財修理助成等を実施した結果、犬山城下町地区の良好な住環境が向上し、魅力ある街なみの形成が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・城下町観光案内所があった本町通りの歩行者数（南北方向）は、平成26年度1,589人/12hから平成30年度6,199人/12hと大幅に増加しており、魅力的な街なみ形成、歩行者優先のまちづくりを進めた結果が表れている。 ・城下町の修景を推進したことで景観への意識が向上し、住民との協働により「犬山城下町屋外広告物ガイドライン」が策定された。
特記事項（今後の方針等）	
・都市再生整備計画（犬山駅周辺地区）の基幹事業において、引き続き街なみ環境整備事業（城下町地区での修景助成、歴史的風致形成建造物への修理助成）を実施し、街なみの魅力向上を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標		
	最終目標値	5240人	犬山城下にあった旧犬山市体育館の解体を契機に、城前及び城下町における観光案内所の再編が検討され、指標の基準点としていた城下町観光案内所は平成29年度途中で機能を縮小し、廃止されたため、縮小・廃止前の数値の傾向から最終実績値（想定見込み値）を算定した。なお、従前の来場者数の状況については、平成27年度が4,126人/月・平均、平成28年度が3,978人/月・平均であり、当初現況値は上回るが、目標値とは大きく乖離している状況にある。要因としては、スマートフォンの普及に伴うアプリやSNSなど情報入手手段の発達により、観光・位置情報を何処でも容易に得ることが可能となったため、観光客は増える一方で、観光案内所の来訪者は実質的に横ばいの現状であると考えられる。なお、定量的指標の代替として、城下町観光案内所があった本町通りの歩行者数（南北方向）は平成26年度1,589人/12hから平成30年度6,199人/12hと大幅に増加しており、魅力的な街なみ形成、歩行者優先のまちづくりを進めた成果と評価できる。
	最終実績値	3697人	
指標			
2	最終目標値	0箇所	
	最終実績値	0箇所	